

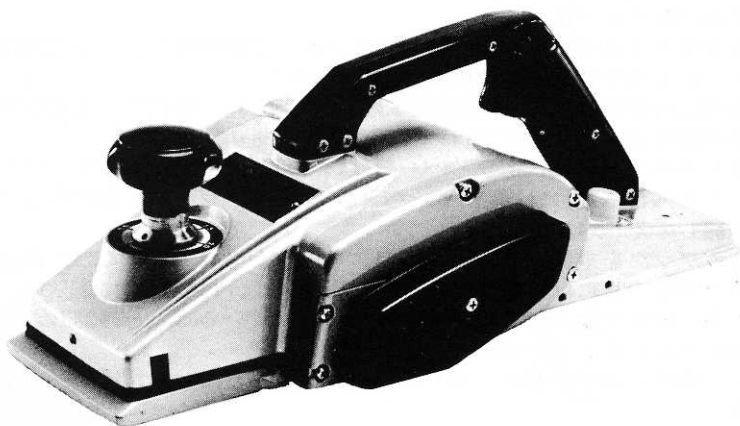
電子カンナ

取扱説明書

LE-480 LE-580



リョービ



※写真モデルはLE-480です。

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

ご使用に当たりますの注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途には、お使いにならないで下さい。

- 被削材に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があればカンナ刃を破損し、仕上面は、きたなくなります。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にカンナ刃は使用説明に従い、正しく取り付けられ、締付ボルトはしっかりと締付けられているか確認して下さい。
- カンナ刃の取付け取外しなどカンナ刃の取扱い時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意して下さい。
- 切屑排出口には絶対指などを入れないよう注意して下さい。カンナ刃が高速回転していますので危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中はカンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。カンナ刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用后、及び停電の際には、さし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さい。

●特長

- 後定盤は滑りが良く耐摩耗性にすぐれたステンレスを使用しております。
- 操作し易く、持ち運び易い、ハンドル形状の採用により、長時間の使用にも楽々です。
- 切削カッター巾は136ミリ(L E-480)、155ミリ(L E-580)と広く、作業能率を高めます。
- 電子制御回路の採用により、低速時においても強力パワーを維持します。
- 8,000～16,000R.P.Mまで無段階に速度調節が可能で、低速回転による低騒音切削が出来ます。
- カッターブロック部は二重防塵の軸受を使用しており、耐久性はグーンと向上しました。

●仕様

< L E - 480 >

電圧..... 100V
電流.....12A
毎分回転数.....8,000～16,000R.P.M

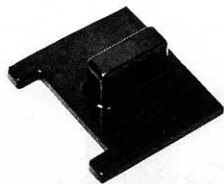
カンナ刃巾..... 136mm
最大切込深さ..... 3mm
重量..... 7.7kg

< L E - 580 >

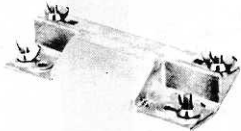
電圧..... 100V
電流.....12A
毎分回転数..... 8,000～16,000回転

カンナ刃巾..... 155mm
最大切込深さ..... 3mm
重量..... 8kg

●附属品



カッター調節定規



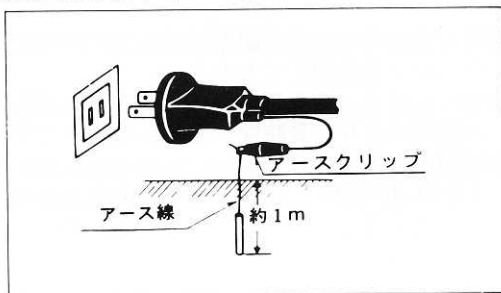
カッター手砥ぎ保持器



ボックススパナ

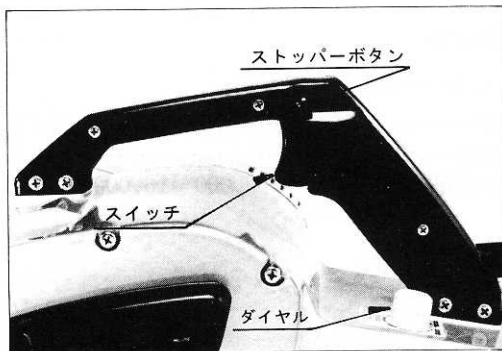
まず差込みプラグを電源につなぐ前に次の事項を注意し必ず守って作業をして下さい。

- 必ず銘板に記載されている電圧（100V）で
ご使用下さい。
- エンジン発電機および直流電源でのご使用
はご遠慮下さい。
エンジン発電機でご使用になりますと、電
子制御回路が故障する恐れがあります。
- 感電事故を防止するため、ご使用に先だち
コード端にあるアースクリップを接地して
下さい。



●スイッチ

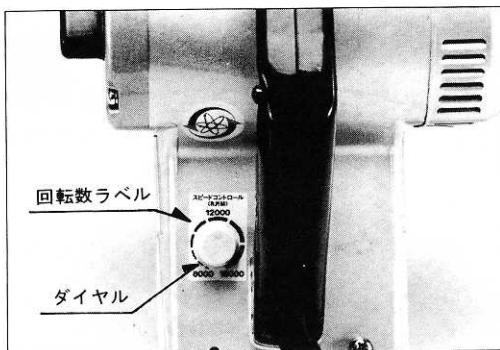
- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離
すと切れます。またスイッチを引いた状態
で握り部のストッパーボタンを押すと、引
金を離してもスイッチは入ったままになり
ます。
この場合、再度スイッチを引くと、ストッ
パーボタンがはずれスイッチは切れます。
連続ご使用の場合はこのストッパーボタン
をご利用下さい。



※スイッチを入れた時、モーターが作動するのに少し時間がかかりますが、これは電子制御回路の内蔵により、スイッチを入れた時電流値が急上昇しない様にソフトスタート機構になっているためです。

●回転数の調節方法

- ダイヤルをゆっくり回し、希望する回転数
にダイヤルの目盛を合せて下さい。
- 8,000～16,000 R.P.Mまで自由に回転数の
調節が出来ます。
- 電子制御回路の働きにより、低速回転での
使用時でも、一定の回転数が保持出来、低
騒音にてご使用いただけます。



●切込深さの調節

- 切込深さは調節握りを回して行います。
 - 削り深さは0～3ミリまで削れます。最初は深く(荒削り)削り、後に浅く(仕上削り)削ると能率的で美しい加工面が得られます。
- | | | |
|-------|------|-------|
| 荒削り | 切込深さ | 2～3ミリ |
| 中仕上削り | 〃 | 1～2ミリ |
| 仕上削り | 〃 | 1ミリ以下 |
- 仕上削りの場合は多少ゆっくり削るとより美しい削肌が得られます。
- (注) 深さ調節握りは1回転(切込深さ3ミリ)以上回さないで下さい。

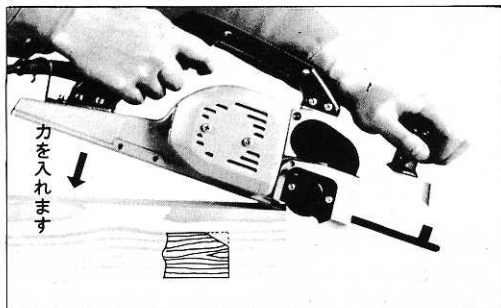
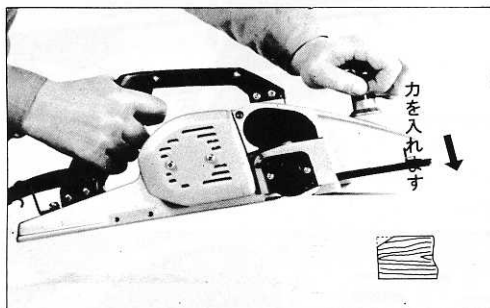
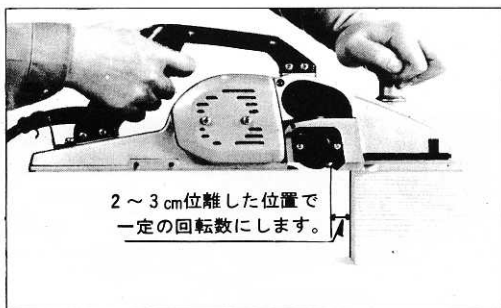


●平面削り

- カンナの Cutter 刃先を加工材より2～3センチ離れた位置に前定盤を当てスイッチを入れます。
- 一定の回転になりましたら前定盤を加工材に水平に密着させて前に押し進めて削ります。

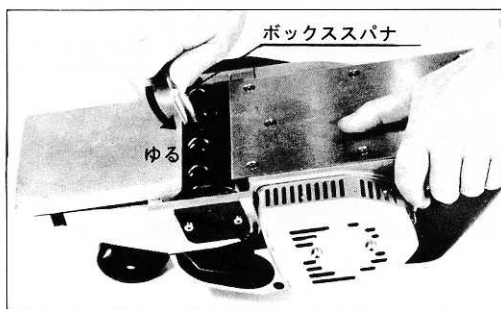
(注) 削り始めと削り終りの注意

- 削り始めと削り終りの時にカンナが傾むくと木材の端を削りますから注意して下さい。



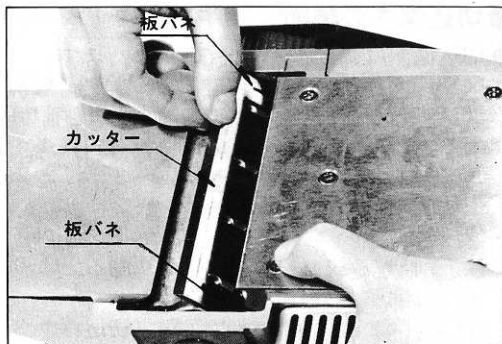
●Cutterの取り外し

- 付属のボックススパナにてCutter押え板を固定しているCutter締付ボルトをゆるめ取り外します。

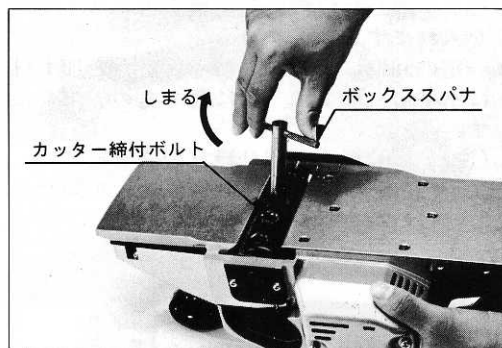


●カッターの刃先調節

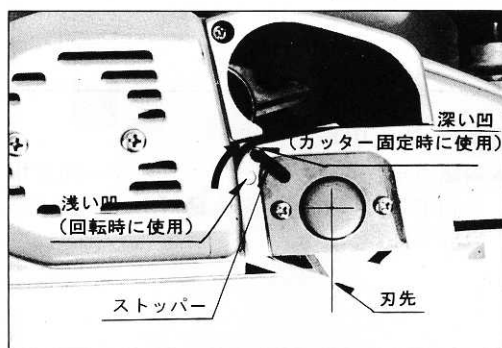
- カッターの刃先調節は正確・簡単に出来る当社独自の方式です。
 - 刃先調節は電源プラグを外し、スイッチが切れた状態になっているか確認した上、次の順序で行なって下さい。
- ①カッターブロック両端の板バネにカッターを差し込み、刃先が後定盤面から少し出るようにセットします。



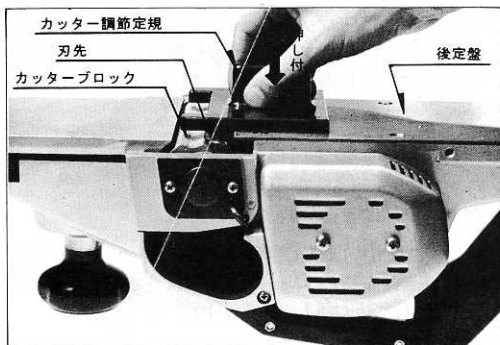
- ②カッターが軽くスライドする程度にボックススパナでカッター押え板を軽く締付けます。



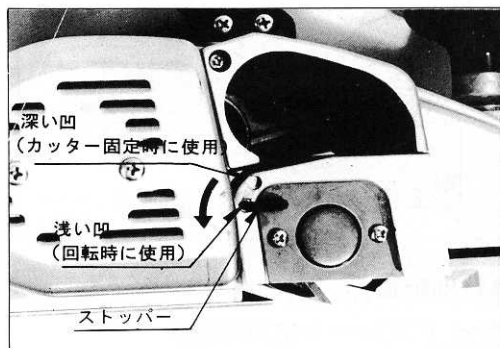
- ③刃先をカッターブロック軸芯真上（刃先が最も高くなった位置）に位置させ左右に少し回転させながらストッパーを引っ張り回転させ、深い方の凹穴に落とし込みカッターを固定します。



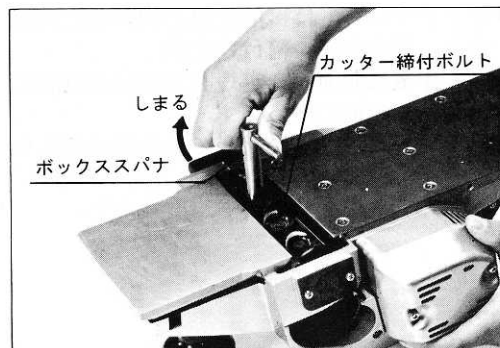
- ④ カッター調節定規を後定盤に密着させ、刃先を後定盤と同じ高さにします。(刃先の高さが後定盤に近づく程美しい切削面が得られます。)



- ⑤ ストッパーを引っ張り、回転させ、浅い方の凹穴に落とし込み、カッターの固定を解除します。



- ⑥ プーリーを手で回転させ適正締付位置でカッター締付ボルトをボックススパナにて強く締付けて下さい。カッターをカッター締付ボルトで完全に固定しない状態でカッターに手を触れますと刃先高さが狂うことがありますので御注意願います。



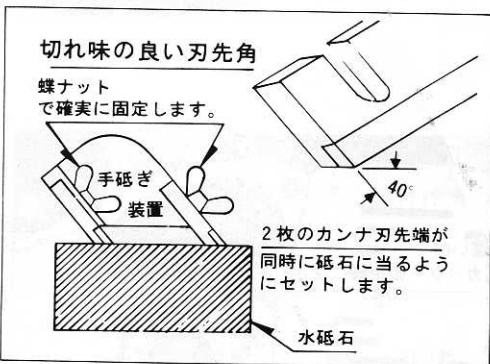
- ⑦カッターブロック片側の刃先調節はこれで完了します。反対側の刃先調節も同じ要領で行なって下さい。

●通常附属品

《カッター手砥ぎ保持器》

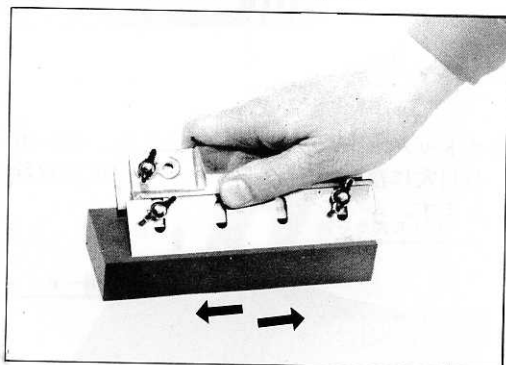
●カッターの研磨

- 長くご愛用頂き切れ味が悪くなったカッターは通常附属のカッター手砥ぎ装置に取付け水砥石で研磨し、ご使用下さい。



カッター締付ボルトは必ず強く締め付け、切削する前はストッパーがカッターブロックの固定を解除しているかを確認して下さい。

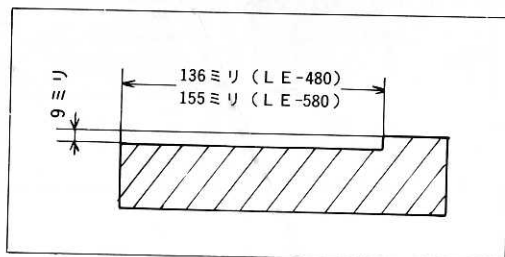
- 手砥ぎ装置で砥ぎますと、2枚のカッターが一度で砥ぎ上がり、正しい刃先角に仕上がって、良い切れ味が得られます。



●特別附属品（別価格）

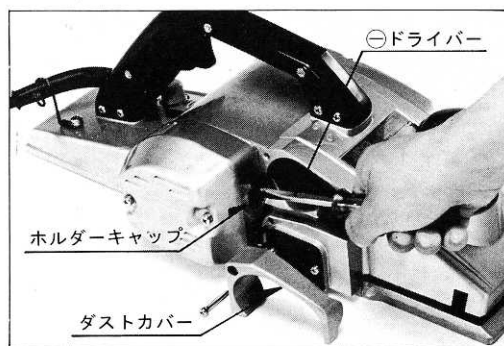
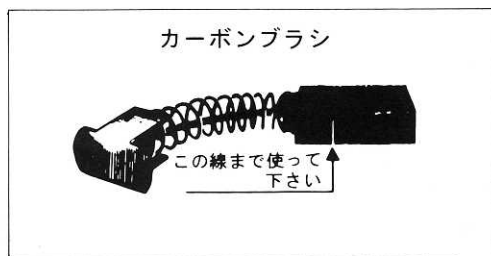
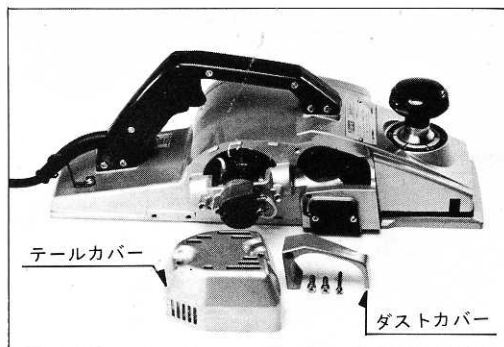
《サイドプレート使用方法》

- 110~136ミリ(L E-480)、130~155ミリ(L E-580)巾の木材加工は、サイドプレートを案内にして削ると便利です。
- サイドプレートは、前定盤上側の角穴に差込み、固定ネジで締付けます。
- 削り作業は側面案内定規を加工材の側面に押し当てて前に進めます。
- サイドプレートを使用して最大切込深さ9ミリ、巾136ミリ(L E-480)、155ミリ(L E-580)のアイジャック加工が出来ます。



●使用後の手入ご注意

- 作業が終了したらカッター切込深さを0にして各部の切削粉をよく除き湿気の無い所に保管して下さい。
- モーター部には、水・油等が付かぬように注意して下さい。
- カーボンブラシが全長の1/3以下(約 200時間使用後) 即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換して下さい。余り短いカーボンブラシを用いて居りますとモーターのアマチュアを焼くことがあります。
- カーボンブラシは⊖ドライバーでホルダーキャップを取り外せば簡単に取り外せます。



検査合格証

- この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です

電気試験	機械検査	部品・包装
		

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い
上ご不明の点があった場合にはご遠慮な
く全国各地のリョービ電動工具販売店、
リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さ
い。

※改良のため製品仕様が変わることがあります。

発売元

 **リョービ東和** 株式
RYOBI 会社

 **リョービ** 株式
RYOBI 会社